

Typewind

Tailwindにさらなる追い風を

自己紹介

近藤 泰治

所属: Reach Script

肩書: ロジックリードエンジニア

|得意分野: フロントエンド

好きなこと: 筋トレ、HHKB



Tailwind CSS 使ってますか?

Tailwind CSSとは

ユーティリティファーストのCSSフレームワーク

簡単な使い方

通常のCSS

```
cbutton class="button">Click me</button>

button {
    width: 40px;
    height: 20px;
    background-color: #ef4444;
    border-radius: 0.25rem; /* 4px */
}
```



Tailwind

```
<button class="w-10 h-5 bg-red-500 rounded">Click me</button>
```

メリット

- クラス名を考える手間が省ける
- CSSファイルを作らなくて良い
- CSS設計を考えなくて良い
- Reactとの相性が良い

デメリット

- Tailwindのクラス名を覚える必要がある
- class名の記述が長くなりがちで可読性が落ちる

TypeScript 使ってますか?

TypeScriptとは

JavaScriptのスーパーセットである静的型付け言語

簡単な使い方

通常のJavaScript

```
const addNumbers = (a, b) => {
    return a + b;
}

// この処理はエラーにならずに結果として文字列の`57`が出力される で
const result = addNumbers(5, "7")
```



TypeScript

```
const addNumbers = (a: number, b: number) => {
    return a + b;
}

// Compile Error!! ②
const result = addNumbers(5, "7")
```

型があれば

- コンパイル時にエラーに気づける
- 代入ミスが減る
- 補完が出る
- タイポが減る

総じて開発スピードUPにつながる

TypeScript のエッセンスを Tailwind に持ち込めればハッピーになれそう

それが

Typewind

Typewindとは

Type SafeなTailwind

Typewindを使うと何が嬉しいか

- Tailwindのデメリットで挙がった「<u>Tailwindのクラス名を覚える必要がある</u>」を(少し)解決してくれる
- 型のおかげでclass名の補完が出るのでタイポしなくなる
- IDEのTailwindプラグインに頼らなくて良くなる

```
// 🔐
const TailWindButton = () => {
    <button className="bq-blue-500 text-white text-lq font-bold py-2 px-4 rounded shadow-sm hover:bq-blue-700">
     Click me
    </button>
// 🤛
import { tw } from "typewind";
const TypeWindButton = () => {
    <button className={tw.bq blue 500.text white.text lq.font bold.py 2.px 4.rounded.shadow sm.hover(bq blue 700)}>
     Click me
    </button>
```

使い方をざっと解説

Normal Usage

- Typewindから提供される`tw`オブジェクトにアクセス、チェーンすることでTailwindのクラスを呼び出せる
- `tw`は`tailwind.config.js`の設定を元にしているので独自で定義したカラーパレット等も呼び出し可能
- Typewindのクラス名はTailwindのクラスのハイフン(`-`)をアンダースコア(`_`)に変えたもの
- `-mt-1`のような負の値(ハイフン始まり)のクラスは、`tw._mt-1`のように指定する
- `inset-1/2`のような/が含まれるクラスは、`tw.inset_["1/2"]`のように指定する
- 色の不透明度は、`tw.bg_blue_500\$["25"]`のように指定する

Modifiers

- `hover`、`before`等の疑似要素、擬似クラス
- `tw.hover()`として引数に当てたいクラスを渡す

Important

• `important`をつけたい場合は`tw.important()`として引数に当てたいクラスを渡す

Arbitrary Values

- `text-[20px]`のようなTailwindで定義されていない値を使いたい場合の記述
- `tw.text_[20px]`のように書ける

```
const Normal = () => {
  return (
     <button className={tw.text_['20px'].py_3.px_4.bg_blue_500}>Click Me</button>
  );
};
```

他にも

- `[&:nth-child(3)]:underline`のように指定できる`Arbitrary Variants`
- 任意の親要素の横幅を基準としてスタイルを当てることができる Container Query

などにも対応

まとめ

- IDEのTailwindプラグインよりも補完が確実で早い(気がする)のでストレスが減る
- かつ、プラグインではWarningだがTypewindならErrorになってくれる
- セットアップの手軽さの割にメリットが多い
- TypeScript最高

参考文献

- https://typewind.dev/
- https://github.com/mokshit06/typewind
- https://zenn.dev/taiji/articles/7cae4a672668d3

